



國武 杏純 さん
(あずきリーダー)
YMCA学院 健康スポーツ科2年
スポーツインストラクターコース

スポ女子が語る 健スポな日々

YMCA学院健康スポーツ科2年生のお二人に、
学校生活やYMCAでの体験について
語ってもらいました。



味岡 愛乃 さん
(にこにこリーダー)
YMCA学院 健康スポーツ科2年
健康福祉指導者コース

YMCA学院 健康スポーツ科を選んだきっかけは？

國武 ののは、なんでYMCAを選んだの？

味岡 親が介護の仕事をしていたこともあって、高校生の時に、インターシップ先に介護施設を選んだんだよね。その時、おじいちゃんやおばあちゃんとボール遊びをする時間があって。それが楽しくて、健康や福祉について学ぼうと思ったのがきっかけかな。

國武 へえ、そうだったんだ。

味岡 小さい頃から、おばあちゃん子だったしね。実は、同世代よりお年寄りのほうが話しやすいんだよね。

國武 私はどちらかと言えば、若い世代の人たちにトレーニング指導ができればいいな。でも、週1回のマッする体操※はいい経験になってると思う。子どもたち相手とは違って、もっと声を張らなきゃって(笑)。

味岡 参加している人たちは、これまでの健スポの先輩たちの姿も見えてくるし、学生の私たちにやさしく接してくれるもんね。

國武 伝え方とか、伝わり方って、実際に経験してみないとわからないよね。リーダー※活動だと、また違う。

味岡 そうだね。自分たちにはできて、子どもたちがまだできないことをどう伝えたらいいかって難しい？

國武 私たちは自分が子どもの頃に当たり前に外遊びをしてたけど、今の子どもたちって体を動かす機会が少ないんだと思う。体操教室では、子どもたちとどんなことを話す？

味岡 初めのうちは、子どもたちから話しかけてくれることは少ないんだけど



※マッする体操…健康スポーツ科が毎週、中央校舎で地域のシニアを対象に行っている体操教室。学生が授業の一環として参加者を指導、サポートする。

※リーダー…YMCAが行うスポーツスクールやキャンプで子どもたちと共に活動し、成長する指導者。

ど、「今日は何かあった？」って聞くと、返してくれたりして。

國武 私は、たくさん塾や習い事してるのを聞いて、びっくり。子どもたちのことを知るのに、話すって大事だね。

先生・先輩リーダーとの関係、学生同士は？

味岡 リーダー活動って、アルバイトというよりは学校の延長って感じかな。

國武 YMCA学院で指導法や補助の仕方を学んでいることがすごく役に立ってるし、お手本となるYMCAの専門スタッフがそばにいてくれて、とてもありがたいよね。

味岡 学院の先生たちはどう？

國武 距離感が近いよね。

味岡 たしかに。「先生」のイメージとはだいぶ違うかも。みんなおもしろいし、ノリがいいというか。

國武 何かを決める時は基本的に任せてもらえるし…。

味岡 でも、ちゃんと話を聞いてくれて、必要な時にはアドバイスもくれる。

國武 先生に教わる以外に、学生同士で教え合える関係もいいよね。健康スポーツ科はいろんな競技を経験した人たちの集まりだからね。

味岡 あずも、サッカー経験者だね。

國武 そう。なでしこジャパンの影響もあったかな。小4の時に始めて、その後、中学、高校までサッカーひと筋だったよ。当時、バスケットかサッカーの2択だったんだよね。バスケットで突き指をするのがイヤでサッカーを選んだのに、結局キーパーになっちゃった(笑)。(2面につづく)



授業の様子

Pickup

うまく描けたでしょ
体育英語幼稚園
敬老の日



益城町木山仮設団地
月に1度の
マッする体操

ワッペンテスト
がんばったね！
むさしセンター
水泳教室



ボランティア活動に参加して

國武 この前は、7月の豪雨で被害を受けた地域にボランティアに行ったね。荷物を出して、まとめて、分別して。

味岡 それまでは、自分が行かなくても誰かがやってくれるって、どこかで思ってたかもしれない。

國武 1軒を15人くらいで作業したけど、できたことはほんの少し。ちょっと悔しかったな。でも、みんなで一緒にやれたことが大きかった。

味岡 YMCAにいと、ボランティアに参加するのも自然なことだもんね。



國武 そう感じるのは、これまでもスポーツイベントの運営やキャンプリーダーの経験をしてきたからかも。

味岡 すごく暑かったけど、達成感があった！

國武 終わった後、自分のことじゃないのにスッキリした気分だったよ。

味岡 限られた時間だったけど、誰かの役に立てたかな。

編集部 日頃からクラスでも仲のよい、國武さんと味岡さん。新型コロナウイルスの影響で学校や日常生活で制限もある中、ボランティア活動さえ楽しんでしまう彼女たちの充実した日々の様子が伝わってきました。本紙4面では、彼女たちのオフタイムやお気に入りのアイテムを見ることができますよ。

専門学校 熊本YMCA学院 願書受付開始

「専門教育」「キャリア教育」「人間教育」に取り組む専門学校YMCA学院の2021年度願書受付が始まりました。2021年度からは段山本町の新校舎に移転予定。より安心安全な環境で、多様な価値にふれながら学びを深める機会を提供します。入学試験の詳細・資料請求についてはWebサイトをご覧ください。

図 YMCA学院 Tel 096-353-6393



募集学科

- ・建築科
- ・医療秘書科
- ・こども保育科
- ・グローバルコミュニケーション科（留学生対象）
- ・ホテル観光科
- ・健康スポーツ科



Information 行こう 見よう 深めよう

10月31日～12月19日

Amazon Future Engineer プログラミング教室WEBデザインコース

青少年
×
IT

AmazonとYMCA、そして Life is Tech!の協力によるプログラミング体験教室がやってきます！

今回は、オンラインプログラミング教材Life is Tech! Lesson (Webデザインコース)でWeb制作を学びます。自分オリジナルのWebサイトを作ってみましょう。

図 10月31日(土)～12月19日(土)
毎週土曜日 全8回(1回2時間半)

会場・時間 ①中央センター(熊本市中央区新町) 15:00～17:30
②ルーロ合志(合志市御代志) 10:00～12:30

図 小学4年～高校3年生 図 10月16日(金)18:00
費 33,000円(初回特別) ※YMCAプログラムに初めてご参加の方は1,650円の登録料が別途掛かります。

持ち物 USBメモリ 8GB以上(パソコン、Wi-fiはYMCAで用意します)

催 アマゾンジャパン合同会社

企画・運営 公益財団法人 日本YMCA同盟

協力 ライフイズテック株式会社

図 YMCAながみねファミリーセンター

Tel 096-385-0676

お申込みはWebで



10月25日 Sunday

YMCA自然が子どもを元気にするプロジェクト 大自然満喫デイキャンプ

自然
×
キャンプ

文部科学省「子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業」として、デイキャンプを行います。大自然に囲まれたYMCA阿蘇キャンプでネイチャープログラムやクラフトを楽しみましょう。

図 2020年10月25日(日) 集合解散 YMCA阿蘇キャンプ(阿蘇市車帰)集合10:00 解散16:00

図 小学生 費 2,010円 図 40名

図 ネイチャープログラム、薪割り、焚火、アーチェリー、クラフトなど

図 YMCA中央センター

Tel 096-353-6391

お申込みはWebで



愛されて13年 歌声広場わいわい

歌う
×
交流

童謡・唱歌、歌謡曲・ポピュラーソング、ラジオ歌謡など、懐かしの歌の数々を人気歌手・コーラスグループの思い出とともに、生演奏で歌いましょう。参加費は各回500円。ご友人、ご家族お誘いあわせてお出かけください。

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、時間を縮小し、内容を変更して行っています。ご参加の方は、マスクの着用をお願いします。



2020年度後半スケジュール

		2021年					
開催日		10月	11月	12月	1月	2月	3月
会場・時間							
東部センター	18:00～19:00	7	4	2	6	3	3
中央センター	15:00～16:00	14	11	9	13	10	10
むさしセンター	13:30～14:30	16	25	18	15	26	19
みなみセンター	11:00～12:00	21	18	23	27	24	17

R | E | P | O | R | T

[8月16日⇒ 9月21日]

新拠点

“ルー口合志”活動開始 体験教室を開催

元西合志町役場が2019年10月に商業ビル「ルー口合志」として生まれ変わりました。そのルー口合志の一画が熊本YMCAの活動拠点の1つとして加わりました。活動開始の第一歩として8月16日(日)、20日(木)に子ども対象の工作教室と科学実験教室、大人対象のウクレレ体験教室を実施しました。

工作教室では磁石の特性を使った工作物「棒をクルクル回りながら上下するチョウチョ」づくりにチャレンジしました。参加した子どもたちはまず説明を聞き、用意された手作り工作キットを組み立て

ます。細かな作業もあり、集中力も要する作業でしたが、最後まで作り上げました。また、でき上がった工作物がうまく動かないと、なぜ、どうしてと、未来の科学研究者さながらに確認する姿も見られました。子どもたちは完成品を満足そうに動かしていました。

今後も、むさしセンター、ユーパレス弁天とともに、合志エリアでの活動を展開していきたいと思えます。皆さん、これからもルー口合志の活動を応援してください。

職員 吉田しのぶ



子ども

なんでもやる隊 2020年度活動スタート

リフレスおおむたの「なんでもやる隊」は、年間を通して自然・環境学習活動、工作などを含む総合的な活動を行っています。例年は5月開講ですが、新型コロナウイルスの影響を受け、9月13日(日)に第1回の活動日を迎えました。

レクリエーションを兼ねた開講式の後は、昼食作りに挑戦。初めて会うお友だちも多い中、みんなで協力して作ったリフレス自慢のカレーは格別のおいしさで、お代わりをするメンバーもいました。

午後からはお楽しみの紙飛行機作り。作り方

うまく飛ばなかった時の調整の仕方などの説明を受けながら、2種類の飛行機を作りました。体育館で飛ばしてみると、まっすぐ飛んでいくものもあれば、思わぬ方向へ迷走するものも。勢いよく飛んだ飛行機が体育館の天井まで到達すると、子どもたちの歓声が響きました。同じ材料と作り方で調整次第では全く異なる飛行をすることを学びました。コロナ禍での活動には制限がありますが、今後も良い学びと経験の場にしていきたいと考えています。

職員 東久文



野外活動

野外でリフレッシュ ヨガキャンプを開催

9月20日(日)～21日(月・祝)、秋の訪れを感じる阿蘇でリフレッシュヨガキャンプを開催しました。新型コロナウイルスによるストレスを抱える人も多い昨今、大地のエネルギーを感じながら心と身体を癒す機会を提供することが目的。メンタルコーチ、ヨーガ講師などとして活躍する天素体流・テンススタイル代表の山本朋慧さんを講師に迎えました。

総勢14名の参加者は1泊2日のキャンプで3回のヨガを体験。YMCA阿蘇キャンプを拠点に付近の水源地散策をしたり、夜には熊本のあか牛、豚肉を使っ

たスペシャルバーベキューを行うなど、大自然の中でゆっくりとした時間を過ごしました。2日目の“天空ヨガ”は、“天空の道”として知られる阿蘇市道狩尾幹線の近くにある狩尾原野が会場。雲一つない青空の下、阿蘇五岳を一望できる素晴らしい場所でのヨガ体験に、参加者からは「大自然の中で、思い切り心と身体を解放することができました」などの声が聞かれました。阿蘇キャンプではこれからも、様々な自然体験活動を提供していきます。

職員 本田奈緒子



岡 総主事の タラン トン Vol.73



願い求めて

先日、熊本YMCAの活動をボランティアとして支える役員の皆さんと研修の機会を持ち、日本YMCA誕生や熊本洋学校に始まる熊本YMCAの歴史を学びました。参加した皆さんから「YMCAの歴史と理念を再確認できた」「これまでYMCAに関わった多くの方々の想いを、次へ伝えられる一人になりたい」などの感想をい

ただき、私自身もYMCAの存在意義と果たすべき役割、組織と個のあり方について改めて考えることができました。

私たちYMCAは非営利公益団体として長い歴史を刻んできました。しかし、運営は常に順調であったわけではなく、幾度となく試練を経験しました。その歴史を振り返る中で、大変な時にも一人ひとりの想いや行動が世界を変える力となること、平和を求める祈りこそYMCAの運動の原動力となることを確信しました。

新型コロナウイルスの影響により様々な制限を受けている今も、私たちは、限りある財的、物的、人的資源を有効に用いながら、多くの人々のニーズに応えるため努力を続けています。私たちにできることは、人々に寄り添うこと

です。今までに経験のない状況下でのチャレンジが不安をもたらすこともあります。しかし、祈りと共に願い求めるならば、必ず知恵が与えられ、新しい道が供えられると信じています。

ヨハネによる福音書17章21節の「すべての人を一つにしてください」という言葉は、YMCAの行動理念の基本です。宗教、国家、民族、人種の隔たりを超え、生きとし生けるものが一つとなる志をもって、平和な世界を築いていきたいという願いです。多様なサービスやプログラムを通して、子どもたちの成長に寄り添い続け、地域の人々の健やかな生活を支える働きと、社会課題に取り組む団体として社会に貢献していきます。「ポジティブネット」のある豊かな社会を共に目指していきましょう。

t a l a n t o n

7月熊本豪雨支援

熊本YMCAは8月22日(土)から球磨郡多良木町の旧多良木高校に開設された避難所の運営を担っています。事前にPCR検査を行うなど新型コロナウイルス感染対策を十分に講じたうえで、全国のYMCAや協力団体からも支援スタッフが入っています。支援スタッフは避難所で、指先から脳トレ、口腔体操までバリエーション豊かなレクリエーション体操を実施。参加者はしっかり体や頭も使って、あたたかい笑い声に包まれています。

また、9月の毎週土曜日にボランティアを募り、球磨村の被災地に派遣。YMCAの会員や職員がともに汗を流しました。10月以降も継続して活動を行います。

ボランティア募集情報▶



ポジティブネットYMCA募金

熊本YMCAが取り組む募金活動に、全国のYMCAやワイズメンズクラブはもとより学校法人横浜英和学院やNGOアジア子どもの夢(富山)などの多くの団体・企業、個人の皆さまから募金が寄せられています。皆さまのあたたかいご支援は、被災地の復興を継続的に支援するために大切に用いさせていただきます。引き続き、お支えくださいますようお願い申し上げます。



横浜英和学院に設置された募金箱

募金額 **¥7,659,251**

(9月30日時点)

目標金額
1000万円

募金方法

クレジットカードでの募金が可能になりました。サイト内の入力情報はすべて暗号化して送信されますので、安心してご利用ください。

〈その他の方法〉

○YMCA各センターへの持参 ○Yahoo!募金

○お振込み(肥後銀行・みずほ銀行)

お問合せ 熊本YMCA本部事務局 Tel 096-353-6397



Snap

1面に登場したYMCA学院健康スポーツ科の國武さん、味岡さんのオフショットをご紹介します。

高校まで
サッカーひと筋!(國武)

ムーミンが好き!
マスクの“ミイ”は
自分でつけました(國武)

韓国アイドルや読書に
ハマってます(味岡)

同級生のリーダー仲間です!

熊本大地震から4年半の月日が経ちます。震災後、日本バプテスト連盟南九州地方連合では震災支援として益城町平田仮設団地で「わくわくカフェ」を開始しました。仮設の集会所で第四火曜日午後2〜4時に毎月行われました。参加者は仮設より10名前後、スタッフは牧師、信徒の方々有志10名前後。内容は用意された飲み物、茶菓を頂きながら思い思いのおしゃべりで始まり、一息つくときよく知る唱歌をキーボードに合わせて数曲歌い、次にビンゴゲームです。みんな真剣です。当ると「ビンゴ」と言って用意された賞品がもらえます。「カフェ」は休むことなく39回続けられ仮設が木山地区に集約されるため、今年3月を

7月、熊本は球磨川大水害に見舞われ、特に流域の市町村は甚大な被害を受けました。コロナ感染予防と猛暑が絡みあって復旧作業も大変な様子です。ただ思いを寄せて祈るのみです。

9月半ば秋の気配が感じられるこの頃、今日も共に祈ります。コロナ感染の早期終息、そして平和な日常が再び戻ってくることを!

共に生きる

見よ、兄弟が共に座っている。
なんとという恵み、なんとという喜び。

詩編 133篇1節

わたしと聖句



日本バプテスト 熊本愛泉教会
濱田修三

もって終了しました。最後はお別れ会となり「楽しかった!」が皆の感想で、「お元気で」と互いの健闘とエールを送りながら別れを惜しましました。表記の聖句はその時の情景と感動の中に与えられたみ言葉です。

新型コロナウイルスの感染は今や世界に拡大し、多くの人々に被害と苦しみを与えています。私共の教会も消毒と3密にならないよう徹底し主日礼拝を守ることができました。またCS夏期学校は礼拝後、「お遊び会」としてゲームや水遊びをしました。ストレスを溜めがちだった子どもたちの笑いと歓声が久しぶりに教会の庭に響きわたりました。

発行所/(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区新町1-3-8
TEL 096-353-6397(代)

発行人/岡 成也 編集協力/pros creative
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2020年度基本聖句

テサロニケの信徒への手紙一 5章13節
愛をもって心から尊敬し 互いに平和に過ごしなさい。